

平成27年度 志教育全体計画

宮城県立角田支援学校

学校教育目標

持てる力を高め、心身の調和的発達を促し、健康で心豊かな人間の育成に努める。

児童生徒の実態

- ・明るく、元気
- ・生活経験が少ない
- ・素直で根気強い

目指す子ども像

- ◎やさしい子ども
- ◎かっこいい子ども
- ◎たくましい子ども

教師や保護者、地域の願い

- ・将来は、地域の一員として、みんなと協力しながら楽しく生活してほしい

志教育の目標

体験学習や実習等とおして、人や社会と関わる力を養い、将来、社会の一員として生活することができるよう、社会人としてのよりよい生き方を身に付けようとする態度を育成する。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> ・元気に返事や挨拶をする。 ・指示や約束を守り、友達と楽しく集団生活を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の生活を意識し、必要な知識や技能を身に付ける。 ・好きな物事を見付け、生活を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動や清掃活動等に関心を持って取り組む。 ・集団の一員としての役割を果たす。

各教育活動における取組の観点

生活の場での取組	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に即した単元を構成することにより、集団の一員として約束事を守り、将来楽しい生活を送ることができるよう、社会生活に必要なスキルを身に付ける。
教師の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な基本的な知識・技能を習得する。 ・将来豊かに生活するために必要な心身の健康の保持増進や体力の向上を図る。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や交流及び共同学習等とおして、集団や社会の一員であることに気付き、仲良く活動する気持ちを育てる。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の障害を理解し、克服する態度と気持ちを育て、将来社会の中で生活するために必要な知識や技能を身に付けようとする意欲を育てる。
課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や特技になるような好きなものを見付けたり、友達や周囲の人との関わり大切さを知ったりして、将来の生活が豊かで楽しいものになるようにする。

各学部の取組内容

小学部	<p>小学部を、将来社会的に自立した生活を送るための基礎作りの段階と捉え、日常生活の自立を目標に、身辺処理や社会適応の力を伸ばすことを重点に指導を行う。教師や友達と関わりながら、日々の生活に必要なスキルを習得するとともに当番や役割活動など「人の役に立つ活動」を学習する。また、生活経験や社会との関わりを拡充していくために、校外学習や宿泊学習を実施する。</p>
中学部	<p>将来の目標を、卒業後地域の人に支えられながら地域の中で暮らすこととし、学習内容を「生活する力」「働く力」「楽しむ力」の3つに分けて支援・指導を行う。特に、中学部から行う作業学習においては、働くことへの意識付け、実践(職場施設見学や作業学習)、現場実習を実施し、卒業後の職業につなげる学習を行っている。また、作業学習や自立活動をおして人と関わる力の育成にも取り組む。</p>
高等部	<p>高等部卒業後の「自立と社会参加」に向けて、5つの力「生きていく力」「生活する力」「かかわる力」「楽しむ力」「働く力」をバランスよく培い心身の調和的発達を目指した指導を行う。特に将来の就労に直結する現場実習を通して学年や実態に応じた的確なキャリア教育を進めることにより、生徒一人ひとりに応じた自己実現を図る。また、ボランティア活動(エコキャップ運動)に取り組むことを通して、困っている人を助けたり人の役に立ったりするなどの「共助」の気持ちを育成していく。</p>

家庭との連携

- ・連絡帳 ・個別面談 ・進路相談
- ・個別の指導計画(成長の記録)
- ・個別の教育支援計画(個別移行支援計画)

地域・企業との協働

- ・現場実習 ・職場施設見学 ・交流及び共同学習
- ・居住地校学習